

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和3年7月29日(2021.7.29)

【公表番号】特表2020-529599(P2020-529599A)

【公表日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2020-041

【出願番号】特願2020-505220(P2020-505220)

【国際特許分類】

G 01 F 1/66 (2006.01)

【F I】

G 01 F 1/66 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月18日(2021.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流量計であって、

測定チャネル(18)の断面プロファイルが、ハイドロフォーミングによって形成され

、前記測定チャネル(18)が、結合部材(2、4)に収容されたセンサ(6、8)のための凹部(10a、10b)を有している、流量計。

【請求項2】

請求項1に記載の流量計において、

前記測定チャネル(18)が、前記凹部(10a、10b)の領域に、非円形断面を有している、流量計。

【請求項3】

請求項2に記載の流量計において、

前記断面は、測定信号の入力結合／出力結合方向で、幅(b)よりも大きい高さ(h)を有している、流量計。

【請求項4】

請求項3に記載の流量計において、

使用位置において、前記断面が水平方向に配置されることにより、より小さな前記幅(b)が重力の方向に配置される、流量計。

【請求項5】

請求項1～4のうちいずれか一項に記載の流量計において、

前記測定チャネル(18)の移行セクション(30a、30b、32)が、変形の領域において、丸みを帯びている、流量計。

【請求項6】

請求項1～5のうちいずれか一項に記載の流量計において、

前記測定チャネルが、フランジ付きまたは無しで一体部品として形成されている、流量計。

【請求項7】

請求項1～6のうちいずれか一項に記載の流量計において、

ハイドロフォーミング中に、前記凹部(10a、10b)の領域に膨らみが製造される

、流量計。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の流量計において、
前記センサが、前記膨らみの領域に配置されている、流量計。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のうちいずれか一項に記載の流量計において、
入口（34）および出口（36）の領域における前記断面プロファイルが、円形プロフ
アイルである、流量計。

【請求項 10】

請求項 1、3、4、5、8 のうちいずれか一項に記載の流量計において、
センサ（6、8）が、前記測定チャネルの壁を通して音を出す、流量計。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のうちいずれか一項に記載の流量計のための測定チャネルであって、
前記測定チャネルは、ハイドロフォーミングによって製造される、測定チャネル。